

第2学年

2学年主任 野宮 典子

1 学年経営目標（3年間を見通した指導を行う）

- 1学年 共生 ～正直・認め合い～
- 2学年 共生 ～誠実な行動～
- 3学年 共生 ～未来を拓く～

これまでの学びを生かし、他者と共生しながら小集団における自分の役割を理解して責任ある行動をすることができ、自分の決断に自信と責任をもつことができる力を養う。

2 学年目標 「共生 ～誠実な行動～」

- ①自分の気持ちや考えを、誠実に伝えよう。
- ②相手を理解し、互いに信頼できる関係をつくろう。
- ③謙虚に学ぶ姿勢をもち、責任を持って活動できる学年・学級集団を目指そう。

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	・教師の授業力向上を図り、生徒の深い学びを実現させる。	・生徒に学ぶ喜びや分かる喜びを培うための学習指導を行う。 ・ICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの両立を図る。
道徳教育	・思いやりと感謝の気持ちを持ち、互いに励ましあい、高めあう生徒の育成を図る。	・自己を見つめ、より高い目標を設定し、それらの達成を目指して努力する学習の場を設定する。
キャリア教育 (進路学習)	・人間としての生き方についての自覚を深め、自己の生き方を考えさせる。 ・学校行事や日常の活動において、協働的に取り組む態度を育てる。	・日常の係活動、清掃活動において、協働して活動する場の設定を大切に、思いやりの心や社会貢献の心を育てる。 ・委員会活動やボランティア活動に積極的に取り組むことを通して、社会に貢献しようとする気持ちを育てる。
生活指導	・豊かな関わりを通して、生徒の成長を図る。 ・教職員全体、専門機関と協力し、校内体制で生徒への支援を行う。	・教育相談の充実を図り、教育相談週間・自発的相談・日常会話・生活ノートなどで担任が生徒と関わる機会と時間を確保する。 ・悩みや不安に対して、アセスメントや教育相談を行い、チームによる支援を行う。
特別活動	・自他の個性を尊重し、他者の良さを認める関係づくりを図る。 ・仲間と協働し、他者の気持ちに共感できる心を育む。	・相手の良いところを認め、相互に成長できる学級、学年集団づくりを行う。 ・小集団活動を通して、個を生かす場の設定を行い、一人一人が活躍できる集団を作る。
保護者との連携	・保護者、地域との連携を密にして相互理解を深め、効果的な教育活動を展開する。	・保護者会や教育相談、学校だよりを通して、子どもたちの取り組みや学習活動の様子を伝える。 ・共に子どもを育てる姿勢で臨み、成長を見守る。